



おすすめ児童書1月



啓林堂書店 外商部
 担当 森川・蔵田・八部・表野
 Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151
 e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp
 啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	999ひきのきょうだいの おやすみなさい	文 木村研 絵 村上康成	¥1,320
<p>かえるのきょうだいの一番大きいおにいちゃんは、秋になり寒くなって眠たくなってきてしまいました。でもまだ雪が降る冬になっていないので、寝ちゃだめなんです。だっておとうとたちは雪が見たいんです。おにいちゃんを寝かせないためにおとうとたちはがんばります。さあ、みんなで雪が見られるかな。おにいちゃんの眠そうな目の変化にも注目です。</p>			
ISBN 978-4-86549-230-9		ひさかたチャイルド : 2020年 発売	
	福助はみた	文 おおなり修司 絵 きむらよしお	¥1,430
<p>幸福を招く人形の福助が捨てられてしまうところからお話が始まります。車でごみ処理場に運ばれ、ごみの山の中でカラスにくわえられ、海に落とされ、漁師に拾われて…。そんな福助が見た景色は色鮮やかに描かれています。そして、福助はいま、居間にちょこんと座っています。よかったね。</p>			
ISBN 978-4-87110-446-3		絵本館 : 2020年 発売	

▽ 小学生以上

	アナベルとふしぎなけいと	文 マック・バーネット 絵 ジョン・クラッセン 訳 なかがわちひろ	¥1,430
<p>雪の積もったある日、アナベルは色とりどりの毛糸の入った箱を拾いました。その毛糸でアナベルはセーターを編みました。その毛糸は不思議なことに、編んでも編んでもなくなりません。いつしか町中がアナベルの毛糸に染まっていきました。その噂を聞いた傲慢な王子がやってきて「譲ってくれ」と。アナベルは断りますが、王子は家来に盗ませたのです。不思議な毛糸のお話です。</p>			
ISBN 978-4-7515-2694-1		あすなろ書房 : 2012年 発売	
	おみくじ	作 きたあいり	¥1,430
<p>もしも、おみくじの箱の中でこんなことが起こっていたら…。「大吉が出ますように、良いことが書いていますように」誰でもおみくじを引くときは真剣。ある日おみくじたちの声を聞いてしまった男の子は、引いた小吉の棒を持ち帰りました。男の子はあらゆる手を使って、小吉に話させようとする。ユーモラスでワクワクするお話。おみくじを引くのが楽しくなる絵本です。</p>			
ISBN 978-4-7764-0679-2		BL出版 : 2014年 発売	